

届け!ウクライナへ



3月23日、開小学校5年生が高田支所を訪れ、自分たちで育てた菜の花米の売上金6,482円をウクライナ人道支援のための募金箱に寄付しました。この募金は、市から日本赤十字社を通じてウクライナでの人道危機対応などに使用されます。

長年の公民館活動を称え



3月28日、ひたでちきよし牟田口清さんが市役所を訪れ、公益社団法人全国公民館連合会優良職員表彰受賞を報告しました。牟田口さんは、みやま市中央公民館の初代館長を務められ、現在みやま市あいさつ運動推進室長として地域社会の振興に努められています。

色鮮やかなぼたんが咲き誇る



九州最大級の広さを誇る敷地に、約80種2,500株のポタンが植えられている「清水山ぼたん園」。今年は4月6日から開園。赤やピンク、白、黄色など色鮮やかなポタンが咲き誇り、みやまの春を彩りました。

脱炭素社会の実現に向けた協定締結



4月14日、立命館アジア太平洋大学と市は、持続可能な脱炭素社会の構築に係る包括協定を結びました。この協定は、学生の半数が留学生という同大学と交流を行うことで、人材育成やグローバルな視点からの脱炭素社会の実現を進めることなどを目的としています。

読書推進に役立てて欲しい



3月30日、瀬高金融協会より絵本34冊、大型絵本5冊、紙芝居7点が寄贈されました。瀬高金融協会を代表し、大牟田柳川信用金庫・瀬高支店長の猿渡祐治さんが「図書館を利用する子どもたちが本を楽しんで、読書推進に役立てば嬉しいです」と話されました。

地域に役立てて欲しい



3月30日、九州バイオカーボン株式会社代表取締役の新名洋一郎さんより高規格救急自動車^{いんぱいしんりゅう}が寄贈されました。新名さんは「コロナ最前線の医療現場や、地域の皆さんの役に立つように活用してもらいたいです」と話されました。

新しい学校生活に胸を膨らませて



4月8日、市内中学校の入学式が行われ、277人が入学しました。山川中学校には44人が入学。新入生を代表して吉開絵里^{ないうり}さんが「校訓を大切に、何事にもチャレンジしていきたい」と誓いの言葉を述べました(左写真)。4月11日には、市内小学校の入学式が行われ、270人が入学しました。二川小学校には46人が入学。担任の先生に名前を呼ばれた新1年生たちは、元気な声で返事をしました。式では松尾祐三子校長がアンパンマンの人形を見せて「アンパンマンのような優しい子になってほしいです」と言葉をかけました(右写真)。

人と猫がしあわせに共生するために



4月14日、市清掃センター内に「どうぶつ基金病院みやま」が開院しました。この会場では月に3日間、捕獲した野良猫の不妊手術が行われます。この事業により、野良猫の繁殖を防ぐことができ、環境改善への効果が期待されます。

竹あかりで河川敷を彩る



3月26日と27日、山門高校近くの矢部川河川敷で竹飾りを使ったイベント「矢部川de竹あかり」が開催されました。穴を開け、組み合わせた竹の中に明かりを入れ、幻想的な雰囲気を演出。竹で作られたジャングルジム、野外レストランなどで来場者を楽しませました。

問みやま市立図書館(Tel 64-1117)
山川市民センター図書館(Tel 67-0401)
まいピア高田図書館(Tel 22-6655)

みやま市立図書館
ホームページ



ツイッター
(@miyamalibrary)



インスタグラム
(@miyamalibrary)



休館日のお知らせ

▶月曜日、第4木曜日は全館休館です

休館日 2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、26日(木)、30日(月)

▶特別整理(蔵書点検)を行います

蔵書点検のため、下記の期間は休館します。期間中は、開館している図書館を利用してください。

- ①まいピア高田図書館 5月10日(火)~15日(日)
- ②みやま市立図書館 5月17日(火)~28日(土)
- ③山川市民センター図書館 5月29日(日)~6月4日(土)

※瀬高館休館期間中は与田準一記念館も休館します。
※最新の開館状況とイベント情報は、図書館ホームページを確認ください。



5月1日(日)午前10時から

ありあけ圏域電子図書館オープン

インターネットを利用して、電子書籍を借りることができます。詳しくは「ありあけ圏域電子図書館」または「みやま市立図書館」のホームページをご覧ください。



▶ありあけ圏域電子図書館ホームページ
<https://web.d-library.jp/ariake/>

5月のイベント・特設コーナー

みやま市立図書館(瀬高館)

- ▶おはなし会(7・14日) 午後2時~2時20分
- ▶図書館ピアノ(8日) 午前11時30分~11時50分

特設コーナー 一般 新緑の季節
児童 おしごとだいしゅうごう!

山川市民センター図書館(山川館)

- ▶おりがみ相談室(14日) 午後2時~午後3時
- ▶おはなし会(21日) 午前11時~11時30分

特設コーナー 一般 プチ旅行を楽しむ
絵本 みぢかないきもの こんにち!

まいピア高田図書館(高田館)

- ▶おはなし会(7日) 午前11時~11時40分

特設コーナー 一般 お出かけしたい気分になったら
児童 のりもの ゴーゴー!

- ▶対象 市内在住・在勤・在学で図書館利用カードを持っている人。
※在勤・在学の人は届け出が必要です。
※図書館利用カードを持っていない人は利用者登録が必要です。
- ▶貸出冊数 3冊
- ▶貸出期間 15日間※期限がきたら自動返却されます

新着図書

※所蔵していない本は、リクエストでできるだけお応えしていきます。

一般(み)



人種差別をしない・させないための20のレッスン
アンチレイシストになろう!
ティファニー・ジュエル/著、オーレリア・デュラン/イラスト
きくち ゆみこ/訳
(DU BOOKS)
なぜ人種差別は存在するの?それをなくすためには?レイシズム(人種差別主義)を一から理解するための入門
ヴィジュアル・ブック。チャプターごとに実践パートを掲載する。用語集も収録。

一般(み)



「組織のネコ」という働き方
仲山 進也/著
(翔泳社)
組織における働き方には4つの動物タイプがある。社命より使命のトラの働き方や、自分に忠実なネコからトラへの進化などを紹介する。『Biz/Zine』連載をもとに書籍化。チェックリスト等のダウンロードサービス付き。

児童(山)



ガチャガチャ・クレンゲームをつくらう
いしかわまりこ/作
(汐文社)
まるで本物みたいな工作をつくらあそぼう!ガチャガチャマシーンとクレンゲームのつくり方を、写真やイラストで解説する。早くできるかんたん工作なども掲載。プラパンの昆虫標本の型紙つき。

絵本(高)



かめれおんせん
林 木林/作、喜湯本のつみ/絵
(ひさかたチャイルド)
森の中にひっそりと、ふしぎな温泉が湧いています。動物たちがやってきて、お湯のなかに入ると色が変わりました。みんなであっしょいに入ると…。楽しい言葉遊びが散りばめられた温泉絵本。

※TRC週刊新刊全点案内より

(み)みやま市立図書館 (山)山川市民センター図書館 (高)まいピア高田図書館

コロナに負けないよ、頑張ろう



清水公民館で「コロナに負けないよ、頑張ろう」とメッセージを込めたかかしが展示されています。このかかしは、コロナ禍で沈んだ地域の雰囲気を取り戻すため、清水校区まちづくり協議会の有志で作製。ゴールデンウィーク期間中まで展示されます。

消防団の活動が評価



4月7日、みやま市消防団の三小田智裕団長が、市長へ防災功労者消防庁長官表彰の受賞を報告しました。令和3年8月豪雨での消防団の活動が評価されたもので、三小田団長は「今後もより一層気を引き締めて、地域の安全・安心に努めます」と話されました。

快適な車の通行が可能に



3月25日、一般県道湯辺田瀬高線道路拡幅事業の完成式がくすのき館で開催されました。この県道は、平成26年度から福岡県が整備を進め、今回、瀬高町廣瀬地区から小田地区までの区間が完成したことで、快適な車の通行が可能となりました。

まちのわだい

新体制で地域の安全を守ります



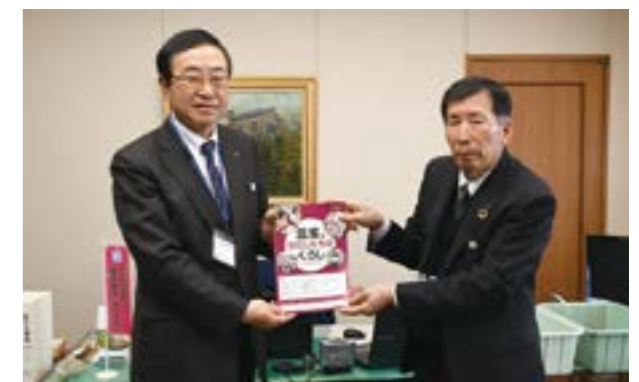
4月3日、市消防本部で消防団新入団員の辞令交付式が行われました。今年度の新入団員は17人。三小田団長より「一日も早く一人前の消防団員となられることを期待しています」と訓示がありました。辞令交付式後は、規律訓練や放水訓練に取り組みました。

戦争体験を伝え平和のともしびに



4月10日と17日、みやま市立図書館で「故郷から見たアジア太平洋戦争期における想いを語り合う討論会」が行われました。みやま市遺族会の会員など15人がパネラーとなって、戦争期の悲惨な記憶や当時の人々の暮らしの様子などを発表しました。

食や農業を学ぶきっかけに



3月22日、南筑後農業協同組合から市内小学校に、食や農業についての教材本「農業とわたしたちの暮らし」が贈呈されました。同組合の吉田昭組合長は「この本を通して小学生の頃から食や農業の大切さを学んでほしい」と話されました。